



Press Release  
報道関係者各位

KYONAN TOWN  
鋸南町

令和2年11月2日

件名 地域おこし協力隊 黒澤さん、伊藤さんが退任 今後も鋸南町で活動

概要説明

平成29年11月から地域おこし協力隊として有害鳥獣対策に従事していた黒澤徹さん（53）、伊藤哲生さん（47）が11月31日をもって3年間に任期を終え退任しました。

11月30日に鋸南町役場で退任式が行われ、白石町長は「困難が多い分野で大きな成果を挙げてくれた。これまでの経験や培った人脈を生かして、さらに地域を盛り上げてほしい。」と今までの活動を労い、感謝状を贈呈しました。退任した2人は今後も鋸南町に定住し、いずれも有害鳥獣対策に関する事業に取り組んでいく予定です。

協力隊は、首都圏などから地域活性化に向けた人材を自治体で受け入れ、各活動に従事してもらいながら移住定住を図る制度で、町では平成29年度から隊員の委嘱を始め、観光・魅力発信や移住定住対策に取り組む2名の隊員が活動しています。

退任した2人にインタビュー！

①黒澤さん

▽協力隊に応募したきっかけを教えてください。

前職（旅行業）を辞めた後、協力隊の制度を知り、鋸南町がチャレンジしたいことを実現できそうだと感じました。都会でのサラリーマンという働き方をやめ、それまで携わってきた旅行業や趣味の活動を農山村の地域振興に関連づけながら新たなジャンルの仕事に挑戦してみたいと思いました。

▽活動について感想を教えてください。

主に町が取り組む鳥獣害対策のサポートをしてきました。印象に残っていることは狩猟エコツアーの運営に携わり、町民と都市住民とが交流できたこと。活動の後半は、台風や新型コロナウイルスの影響で思うように活動できませんでしたが、獣害対策の先進地である鋸南町で勉強できたことは良い経験でした。

▽今後の抱負や目標を教えてください。

地域限定旅行業を通じて、関係人口の更なる創出や雇用促進など様々な形で地域の活性化に取り組んでいきます。地元地域密着型のサードプレイスを目指し合同会社きよなん獣害対策支援センター、鋸南町で培ったノウハウを千葉県や全国に波及させるため合同会社AMAC鋸南営業所の運営を軌道に乗せていきたいです。

②伊藤さん

▽協力隊に応募したきっかけを教えてください。

元々、猟銃免許を持っており狩猟を行っていました。鋸南町で「狩猟エコツアー」が行われていることを知り、狩猟活動が盛んな地域で経験を積み、貢献できればと考え応募しました。今考えれば、狩猟と有害捕獲は別のものでした。

▽活動について感想を教えてください。

有害鳥獣の捕獲を主として活動してきました。自ら罠を作製したり、有害鳥獣の被害で困っている地域に対策の方法を教えたり、被害がひどい地域では罠を仕掛けたりしました。高齢化で自分では対策が出来ない方も多く、相談していただいたら解決できるように頑張りました。

▽今後の抱負や目標を教えてください。

有害捕獲業者として、活動を続ける予定です。有害獣の捕獲は免許が必要で誰でも罠が仕掛けられるわけではないため、地元の免許所持者に負担が集まってしまいます。業者として受け持つことで地元の負担軽減になればいいと考えています。被害から守る事も大事ですが、個体数はどんどん増えると思いますので捕獲することで、被害を減らしていきたいと思います。

問合せ先

総務企画課企画財政室 担当：金木  
TEL：0470-55-4801 FAX：0470-55-0421